



如月に寄せて

主幹教諭 浅岡志津子

相変わらずマスクの手放せない状況の中で、さまざまな行事等も制限されている日常が続いていますが、先日、ほっとする出来事がありました。それは、出勤途中のことでした。朝歩いていると、住宅街の道端にたくさんの豆が落ちていたのです。皆さんには、もうおわかりでしょう。そうです。おそらく前の晩に豆まきをした豆だったのでしょう。あの豆にはさすがの鬼も降参して退散したにちがいないと思われました。そして、変わらない日常(?)を垣間見ることができた思いでした。

せっかくなので、「豆まき」についてもう少し知ってもらえたたらと思います。その起源は、古代中国の「追儺(ついな)」という行事にあり、それが奈良時代に日本に伝わり、宮中で中国同様に大晦日に行われていたそうです。それが、「豆まき」として室町時代中期以降に定着し、江戸時代になって一般庶民の間にも広まったということです。そして、大晦日ではなく旧暦の新年に合わせ、立春前日に行われるようになったそうです。私たちの生活にはいろいろな年中行事がありますが、案外とその歴史は浅く近代以降になってからのものも少なくありません。しかし、「豆まき」は長いこと人々に受け継がれてきたものだということです。鬼に笑われそうですが、早くも来年の節分も楽しみに思ってもらえたらいよいと思います。

さて、そんな「節分」のイメージが強い2月ですが、その異名は「如月」。どのような意味があるか知っている人は、あまり多くないのでしょうか。「衣更着(きぬさらぎ)」で、「着物をさらに重ね着る」という意として説明しているものもあります。確かに、寒さの厳しい時期ですので、納得する人も多いのではないかと思います。しかし、実は、そうではないと『広辞苑』にあります。本来は、「生更ぎ」で「草木の更生すること」を表すのだそうです。だから、「春」の季語でもあります。まさにこれから新しい春夏秋冬がスタートするといった意味だったのです。

そこで、昨年の秋に朝日新聞の「天声人語」(2021.10.18)に載っていた植物にまつわる話を紹介したいと思います。中学校の国語の授業で読みますが、我が国最古の歌集と言えば『万葉集』です。そこに、752年に孝謙天皇(聖武天皇の娘で譲位され、奈良の東大寺大仏の開眼供養の際の天皇)が作った、「この里は継ぎて霜や置く夏の野に吾が見し草はもみじなりけり」(この里にはいつも霜が降るのか、夏の野に私が見た草は秋のモミジのように黄葉していたよ)という歌があり、この「黄葉」こそ植物ウイルスの仕業だということでした。この事実を人には感染しない植物ウイルスについての研究につなぐことで、人に感染する動物ウイルス対策の研究につなげられるということでした。古来より、人々は周りの植物に心を動かし気づかないところで大発見もしていたということでしょう。改めて自然の中で生かされてあることを思わざるを得ません。

植物といえば、唐突ですが、皆さんにぜひ知っておいてほしい詩があります。それは、ハ木重吉の「花」という詩です。ふとした時に、そのときの自分を振り返って心の中でつぶやいてみる詩です。それは「花はなぜうつくしいか ひとすじの気持ちで咲いているからだ」という詩です。なんと簡潔で力強いあり方でしょう。どんな状況でも必ずめぐり来る季節の中で、自分の花を美しく咲かせるために自分の思いを大事にしましょう。



世田谷美術館で作品展が開催され、出展された作品が職員室前の廊下に展示されています。どの作品も個性的で素晴らしい完成度でした。



生徒会誌「けやき」の裏表紙絵を毎年美術部が依頼を受けて行っています。例年は、10月の学芸発表会の展示会場で美術部員が描いた「けやき」の絵数点を投票で決めしていました。しかし、今年は学芸発表会の展示が3月になったため、冊子の作成上、1月に校内掲示版に掲示し、全校生徒の皆さんに投票してもらいました。投票の結果、上記の絵が表紙、裏表紙に決定しました。「けやき」の冊子は3月に出来る予定です。



一枚の板材へ寸法を書きすると切断の工程に入ります。両刃鋸の歯を使い分けながら書き線に沿って切断しています。切り始めや真っ直ぐに切れるか、切り終わりまで緊張が続きますが、友だちと協力しながら懸命に取り組んでいました。(1年生技術)



3月4日までリモート授業選択制のため登校生徒が3年生ではクラスの7割程度ですがしっかりと授業を受けています。

◆2月の行事予定◆

- 16日（水）職員会議
- 21日（月）都立一次・分割前期学力検査
- 22日（火）学年末考査
- 24日（木）学年末考査
- 25日（金）学年末考査

◆3月の行事予定◆

- 1日（火）都立一次・分割後期学力検査発表
- 3日（木）中央委員会
- 7日（月）生徒会朝会
- 9日（水）都立二次・分割後期学力検査
 - ・薬物乱用防止教室（3）
 - ・学芸発表会展示（始）



●2月「人格の完成をめざして」

「やいぬく心」

自分の目標に向かい、努力し続けていますか？

- ・継続して、毎日読書を続けています。
- ・自分でやると決めたことを、最後までやり遂げます。
- ・困難なことに出会っても、決してあきらめず、一歩一歩努力します。

